

**令和6年度  
学校推薦型選抜**

**看護学科  
小論文**

**問題・出題の意図・採点評価基準**

令和5年11月18日

高知県立大学

問 意見交換における意見の不一致がもたらす恩恵とは、どのようなことだと考えますか。  
以下の文章も参考にして、あなたの考えを800字以内で述べてください。

（配点300点）

著作権者から公衆送信の許諾を得ていない為著作物の引用部分のみ削除して提供します。

<出典：ピーター・M・センゲ『最強組織の法則 新時代のチームワークとは何か』  
守部信之ほか訳、徳間書店、1995年>

（出題の都合上、出典の文章を一部省略・改変した。）

<出題の意図>

意見交換は、集団の一人ひとりがお互いを複雑な問題を探求する仲間だと見なしはじめて成立する。この設問により、意見交換における意見の不一致がもたらす恩恵に関する理解力、多面的に捉える能力、自分の意見を論理的に記述する能力をみる。

<採点評価基準>

意見交換における意見の不一致がもたらす恩恵について、自分のもつ考えを観察できるようになること、個人的には得られない洞察を得られること、異なる意見をもつ仲間と認めあえるようになることなど、自分の考えが述べられているかを思考力・判断力の観点から評価する。